

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区亀戸6-31-1 クラウドタワー亀戸クロスゲートタワー2階3階
施設名	ポピンズナーサリースクール亀戸

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

多文化理解を軸にした探究活動

〈テーマの設定理由〉

活動を通して、自分の身近なものを入口に、世界に興味を持ってもらいたい。
様々な環境や文化に触れることで、他者と自分を知り、大切にしたいと感じてもらいたい。
上記の目的から、多文化理解をテーマに設定した。

2 活動スケジュール

- ①2024年8月4日～9月7日【ワールドツアーズ～ケニア～】
目的：いろいろな国を知ろう
方法：オンライン＋対面
- ②2024年9月18日～9月25日【ワールドツアーズ～みずのいきもの～】
目的：いろいろな国を知ろう（2）、伝える工夫をしよう
方法：オンライン＋対面、異年齢交流
- ③2024年11月21日【ワールドツアー～世界の楽器～】
目的：いろいろな国の楽器に触れよう
方法：対面、異年齢縦割り
- ④2024年12月26日～1月【グループ活動～楽器が生まれた国～】
目的：世界の楽器に触れ、その国について調べよう。楽器の使い方を知ろう
方法：縦割り、小グループ活動
- ⑤2025年1月25日【生活発表会】
目的：世界の楽器を友だちと演奏してみよう。
方法：別会場にて、発表会形式
- ⑥2025年2月14日【バレンタインデー】
目的：世界の文化、行事に触れよう
方法：クラス別活動
- ⑦2025年2月17日～25日【日本の多文化】
目的：日本の様々な文化に触れよう
方法：クラス活動

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- ①②③パソコン、プロジェクター、マイク、色鉛筆
④⑤世界地図、地球儀、楽器、スピーカー、発表会場
⑥⑦図鑑、絵本、クーピー、色鉛筆

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ①5歳児対象。オンラインでケニアの国立公園から現地の動物を観察。その後、感想、振り返り、次は何をしたいかを話し合った。
- ②5歳児（0,1歳児）対象。オンラインでイルカの観察。世界各国の珍しいイルカや動物の観察。その後の話し合いで、小さいクラスにイルカの説明をする異年齢交流を行った。
- ③4,5歳児対象。世界の楽器に对面で触れ、その国の文化や楽器ができた意味を知った。2つの学年を縦割り2グループにして実施。
- ④4,5歳児対象。5～6名の小グループに分かれ、6種類の楽器と国（地域）について調べた。初めて見る楽器もあり、使い方を予想しながら活動を行った。
- ※今回触れた楽器を日頃のクラス活動の中でも取り入れ、「ともだちといっしょに奏でる」活動へ広がった。
- ⑤全クラス対象。④で行った合奏を発表会形式で表現した。
- ⑥⑦全クラス対象。日頃のクラス活動の中に、世界に触れられる環境を整えた。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

- ・休んで参加できなかった子へ「聞かせてあげたい」という発言があった。5歳児は、次の活動を自分たちで提案したり、それを叶えるには何を準備したら良いかを想像したりしていた。
- ・子ども同士のディスカッションでは、保育者が用意をしていない展開に活動が動いていくことが多く、提案やひらめきを自由に述べている姿が印象的だった。
- ・楽器に慣れ、演奏する楽しさや友だちといっしょに表現活動をする喜びを感じていた。
- ・自由活動時間も地球儀や地図をもとに工作を行ったり、思い思いの表現をしていた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・楽器を通して、日本→ひとつの国→世界と子どもたちの意識が広がっていくのがおもしろかった。
- ・世界の文化について、自分たちの身近なもの（サッカー→やったこと、観たことがある、チュロス→ディズニーランドで食べた など）を入口にすることで、知らないことへも興味を示していた。
- ・子どもたちから「なんでちがうの?」「これは、なに?」という声があり、自分も知らないので答えられなかった。何でも保育者が知っている訳ではないので、教えるのではなく一緒に調べていく楽しさを感じた。